

■（１２３）記者にも通じる「全国学力テスト」の設問

「なぜ、そう思うのですか」。全国学力調査の「中学・国語Ａ」の最初の設問は４コマ漫画で示された新入生歓迎会の準備打ち合わせがテーマだった。「最初に学校紹介クイズを」と提案した先生に別の先生が理由を尋ねた。なぜ質問したかを考えさせる問題だった。

記者の取材力の大半は質問の力だろう。言い換えれば、相手に「なぜ」をどれほど投げかけられるかだ。どんな取材でも、相手が率先して１から１０までしゃべってくれることはまずない。取材される身になって考えればわかるが、例えしゃべりたい秘話を持っていたとしても、最初からは明かさない。聞かれたことに、最低限の答えで済まそうとする。それだけで「わかりました」とノートを閉じる記者はまず、薄っぺらな記事しかかけない。相手の答えの中に、何かのヒントを見つけて、再び問いかける。質問と答えのキャッチボールを続けることからようやく、胸にしまっている貴重な話や本心が浮かび上がってくる。

「今日の試合を振り返って下さい」。スポーツの試合後によく、アナウンサーが選手にマイクを向けて発言を促す。つい突っ込みたくなる。「それでいい話を聞き出せるのか」。(山)